

はじめに

あー、あの漢字さえ書けていれば……

漢字はムツカシイ。人のことは言えません。私も、いまだに黒板に誤字を書いては生徒に指摘されます。漢字が正確に書けないと、知識が得点に結びつかない。学力イコール得点というわけにはいかないところがツライ。

漢字練習は得点に直結

そこで、知識、学力を得点に直結させる教材として、日本史用語の書き取り練習帳を作りました。幸い、多くの受験生に使ってもらえたので、今回、若干の修正などを行い、改訂版を発行することとなりました。実際の入試で書かされた日本史用語のうち、頻度の高いものを優先してあります（巻末のさくいんを参照してください）。

この練習帳は、漢字を練習しながら、入試で書かされる可能性の高いことがらを絶対に得点に結びつけられるようになっています。単に○×をつけるのではなく、予備校の授業で漢字について注意しているところをそのまま解説としてつけてあります。一発で書けたものはOKです。迷ったり、間違ったりしたものは必ず、もう一度、二度書いてみることに。そうすれば日本史の総復習にもなります。

書いてみることこそ復習の基本

書くことで覚えるというのも勉強法の一つです。絶対に途中で投げ出さないこと。がんばってください。

●●●本書の使い方●●●

- ① 別冊の解答用紙を使って、1回ごとに取り組んでください。できれば第1回から順番にやること。
- ② 解答を見て答え合わせをしましょう。その時に、1字、1字でいねいにチェックすること。
- ③ 解説を読んでください。その注意点を次回以降に活かしていきましょう。難しい字・まぎらわしい字などはなぞってみましょう。

第2回 小国の分立～古墳文化

「漢書」によれば、紀元57年、倭の奴国の使者は^{1こうぶてい}から印綬を授けられた。江戸時代に発見された金印はこの時のものとされるが、その印文には^{2かのわのなのこくおう}と記されていた。

「魏志」倭人伝によれば、239年には^{3やまたいこく}の女王^{4ひみこ}が魏に使いをおくり、^{5しんぎわおう}の称号を得たと記されている。

大和政権の構成の基本は、^{6しせいせいど}とよばれるが、大王は私有地である^{7みやけ}を各地に設け、また名代・子代の民を支配した。一方有力豪族は、私有地である^{8たどころ}、私有民である^{9かきべ}を領有していた。

5世紀の雄略天皇に関する金石文として、埼玉県^{10いなりやまこふん}の鉄剣銘および熊本県^{11えたふなやまこふん}出土の鉄刀銘にはいずれも「ワカタケル」の文字が認められた。ワカタケルは雄略天皇をさすと考えられている。

^{12ぜんぼうこうえんふん}は、^{13たてあなしきせきしつ}をともなう巨大な墳丘墓であるが、出現期最大のものとして、奈良県の^{14はしかこふん}が注目されている。

墳丘の表面には^{15ふきいし}が並べられ、また^{16はにわ}が立て並べられていることが注目されている。

後期古墳の時期には、小規模の墳墓が一定地域に集中する^{17ぐんしゅうふん}が注目されるが、多くは円墳で、埋葬施設は^{18よこあなしきせきしつ}となっているのが一般的である。

古墳時代の土器は、弥生土器の系譜を引く¹⁹はじき[]に加えて、朝鮮半島から
 伝えられた²⁰すえき[]の使用も始まった。

4世紀は中国周辺で国家形成が進むが、²¹こうくり[]が領土を拡大し、²²らくろう[]
 []を吸収した。また朝鮮半島南部においては馬韓諸国の中から²³くだら[]が、辰韓
 の中から²⁴しらぎ[]が興った。この間、朝鮮半島の鉄および技術を導入した大和政
 権の支配がほぼ達成されたと考えられている。その大和政権の朝鮮半島での軍事
 行動を示す史料として²⁵こうたいおうひぶん[]は貴重なものである。

²⁶そうじょ[]の倭国伝には²⁷さん・²⁸ちん・²⁹せい・³⁰こう・³¹ぶと[]と呼ばれる、倭の五王の遣
 使の記事が記されている。

6世紀に入り、²³くだら[]の²⁸せいめいおう[]から²⁹きんめい[]天皇のもとに仏教が伝えられた。
 その仏教公伝については、「³⁰にほんしよき[]」の示す552年および「上宮聖徳法王
 帝説」・「元興寺縁起」などの示す538年の2説があり、後者が有力と考えられて
 いる。



「ひみこ」って
 書ける？

解答

- | | | | |
|----------|----------|--------------|----------|
| 1 光武帝 | 2 漢委奴国王 | 3 邪馬台国 | 4 卑弥呼 |
| 5 親魏倭王 | 6 氏姓制度 | 7 屯倉 | 8 田莊 |
| 9 部曲 | 10 稻荷山古墳 | 11 江田船山古墳 | 12 前方後円墳 |
| 13 堅穴式石室 | 14 箸墓古墳 | 15 葺石 | 16 埴輪 |
| 17 群集墳 | 18 横穴式石室 | 19 土師器 | 20 須恵器 |
| 21 高句麗 | 22 楽浪郡 | 23 百済 | 24 新羅 |
| 25 好太王碑文 | 26 宋書 | 27 讚・珍・濟・興・武 | |
| 28 聖明王 | 29 欽明 | 30 日本書紀 | |

第2回からいよいよ中国の史書が出てきますね。

さあ、定番です。予備校の先生が必ず大きな声を出すところ。**漢委奴国王**の「委」には〈にんべん〉をつけない。委員の「委」ですよ。5の**親魏倭王**の「倭」はちゃんと〈にんべん〉がいりますよ。

卑弥呼、**邪馬台国**。書けますよね。

氏姓制度、**稻荷山**、**江田船山**。このあたりはOKでしょう。

前方後円墳で、入試で差のつくものとして最もよく出るのが**箸墓古墳**です。一説によれば**卑弥呼**、あるいは壺与の墓ではないかと言われているものですね。伝説によって有名な墓です。「箸」という字をよく見てください。「者」ではなくて「者」です。点がなくても○になることもあるでしょうが、せっかくですから正しく書きましょう。

古墳の表面には石が並べられています。**葺石**。知らなかった人がいるかもしれませんが、今覚えましょう。そして誰でも知っている**埴輪**。植木の「植」になっていないでしょうね。さらに「輪」は車輪の「輪」で、輸出の「輸」になっていないでしょうね。この「輪」と「輸」の違いはこれから何度も出てきますから、常に〈くるまへん〉の時には緊張して漢字を正確に書くように。最悪なのは「植輪」。もうメチャメチャです。

埴輪
植輪

同様に**群集墳**の「群」。これ、まちがえる人はいないでしょうが、国・郡・里の「郡」と「群れ」の方の「群」、この区別も今後たくさん出てきますので、必ず意識して書き分けるようにしましょう。

群集墳
郡集墳

実際の入試で頻度を調べていくと、きわめてよく書かされるのが**高句麗**です。ここは絶対に落としてはいけないところです。できれば10回ぐらい書いて練習し

ておきましょう。百濟，新羅。OKですね。好太王碑文もいいですね。

讚・珍・濟・興・武は単純暗記です。「日本書紀」の「紀」，これは〈いとへん〉です。〈こんべん〉で書くのは「古事記」の方ですからね。紀伝体，紀伝道（文章道）など「紀」は頻出の漢字ですから，これも常に意識すること。

日本書紀 日本書記

28・29は仏教公伝で必ず問われるものです。特に欽明天皇の「欽」の字は忘れてしまうことも多いので気をつけてください。「大日本帝国憲法は欽定憲法として公布された」という時の「欽」ですね。

絶対に落とせない文字は，できてもできなくてももう一度書いておいてください。

親魏倭王

卑弥呼

高句麗

そして，穴になりそうな字もこの際もう一度。

箸墓

欽明